

# 福島第一原子力発電所構内の線量状況について

2024年4月25日

**TEPCO**

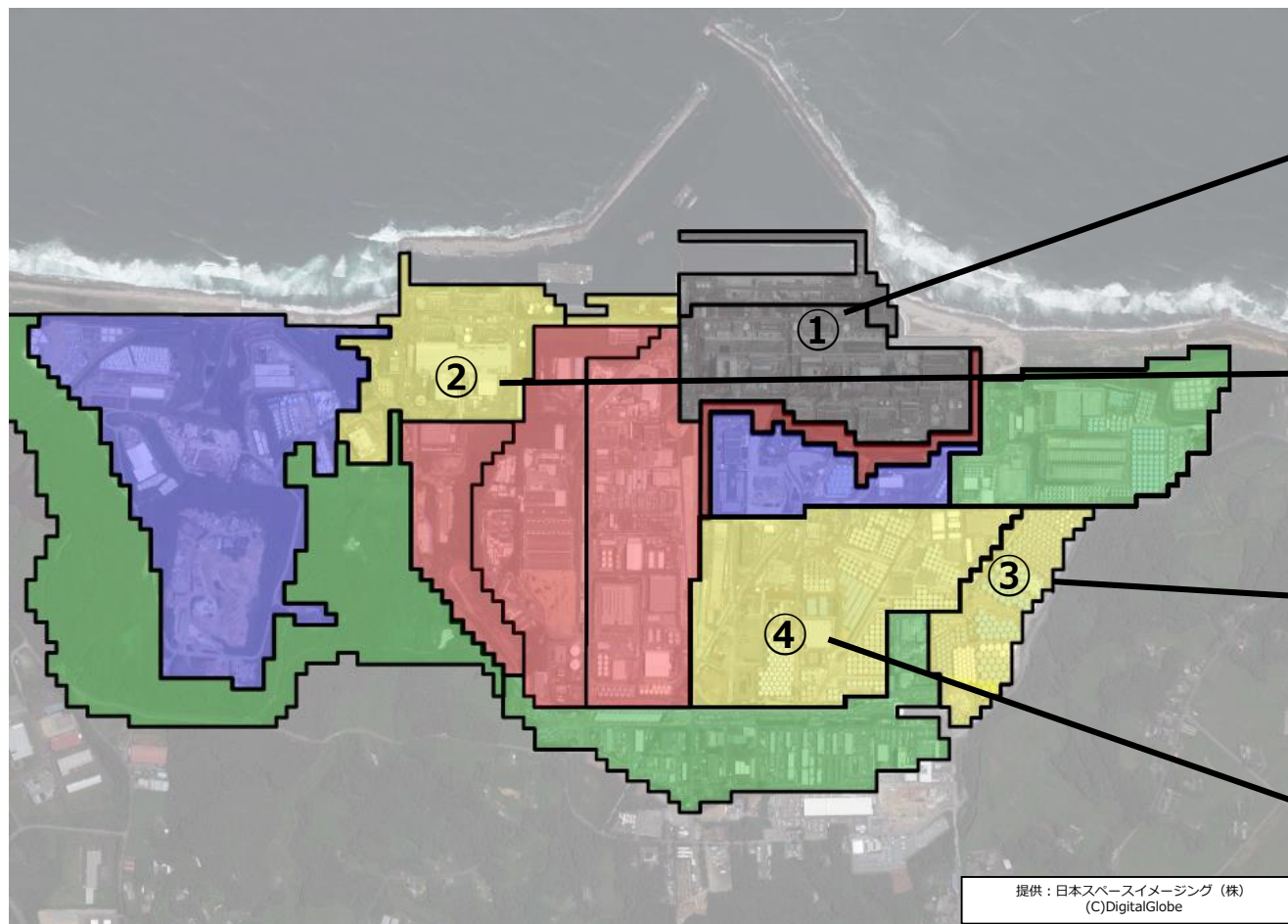
---

東京電力ホールディングス株式会社

# 1. エリアの線量率測定

## －実施概要－

福島第一原子力発電所構内の線量率を詳細に把握するため、エリアを1辺30m四方のメッシュ状に区切り、約3,800箇所について、2021年度～2024年度にかけて線量率の測定を実施する。



### 2023年度測定エリア

#### 測定エリア①

1～4号機周辺  
(2023.11 測定)  
※前回、2022.12 測定

#### 測定エリア②

5.6号・物揚げ場エリア  
(2023.12 測定)  
※前回、2018.4 測定

#### 測定エリア③

Jタンクエリア  
(2024.1 測定)  
※前回、2018.6 測定

#### 測定エリア④

Hタンクエリア  
(2024.3 測定)  
※前回、2020.11 測定

提供：日本スペースイメージング(株)  
(C)DigitalGlobe

：毎年測定

：2021年度測定

：2022年度測定

：2023年度測定

：2024年度測定予定

# 1. エリアの線量率測定

## - 1～4号機周辺（測定エリア①）の線量率 -

1～4号機周辺の地表面からの高さ1mの平均線量率は、昨年度と比較すると、2.5m盤では同程度であり、8.5m盤では53 $\mu$ Sv/h→60 $\mu$ Sv/hと増加している。増加の要因は、主として、1,2号排気塔近傍（右下図の□箇所）の寄与による。当該箇所は、これまでアクセスできず欠測だったが、2023年度にアクセスできるようになり測定した結果、線量率は3,500 $\mu$ Sv/hであった。尚、1,2号排気塔近傍を含めない場合、地表面からの高さ1mの平均線量率は44 $\mu$ Sv/hとなる。

### ■ 平均線量率

#### < 2.5m盤 > 【約90箇所】

単位：[ $\mu$ Sv/h]

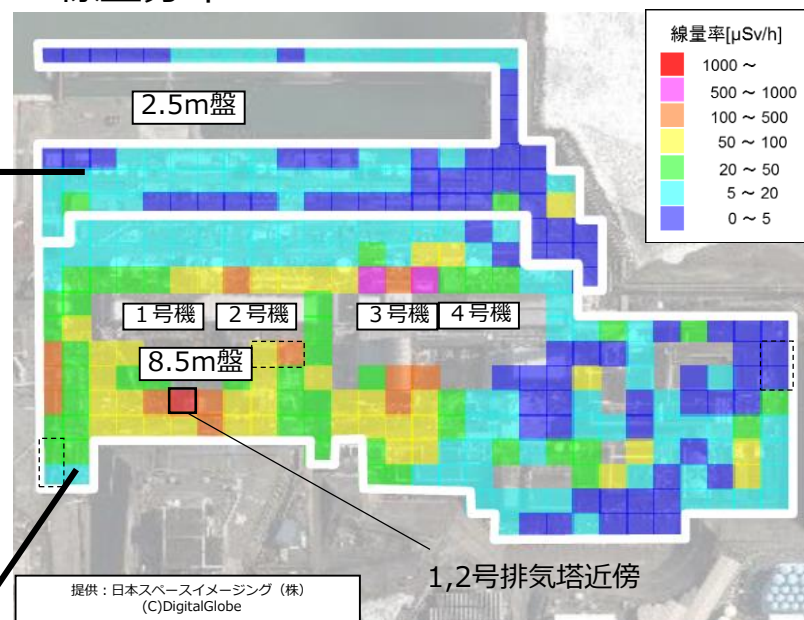
測定年度（測定日）	地表面から1m高さ	【参考】 地表面※1 （リメ-ト）	平均線量率が増減した理由
2020年度（2021.1）	9.8	1.7	特になし
2021年度（2022.1）	7.1	1.5	
2022年度（2022.12）	6.7	1.9	
2023年度（2023.11）	<b>6.4</b>	2.0	

#### < 8.5m盤 > 【約210箇所】

単位：[ $\mu$ Sv/h]

測定年度（測定日）	地表面から1m高さ	【参考】 地表面※1 （リメ-ト）	平均線量率が増減した理由
2020年度（2021.1）	102	25	リード文に記載の通り
2021年度（2022.1）	99	23	
2022年度（2022.12）	53	18	
2023年度（2023.11）	<b>60</b>	17	

### ■ 線量分布



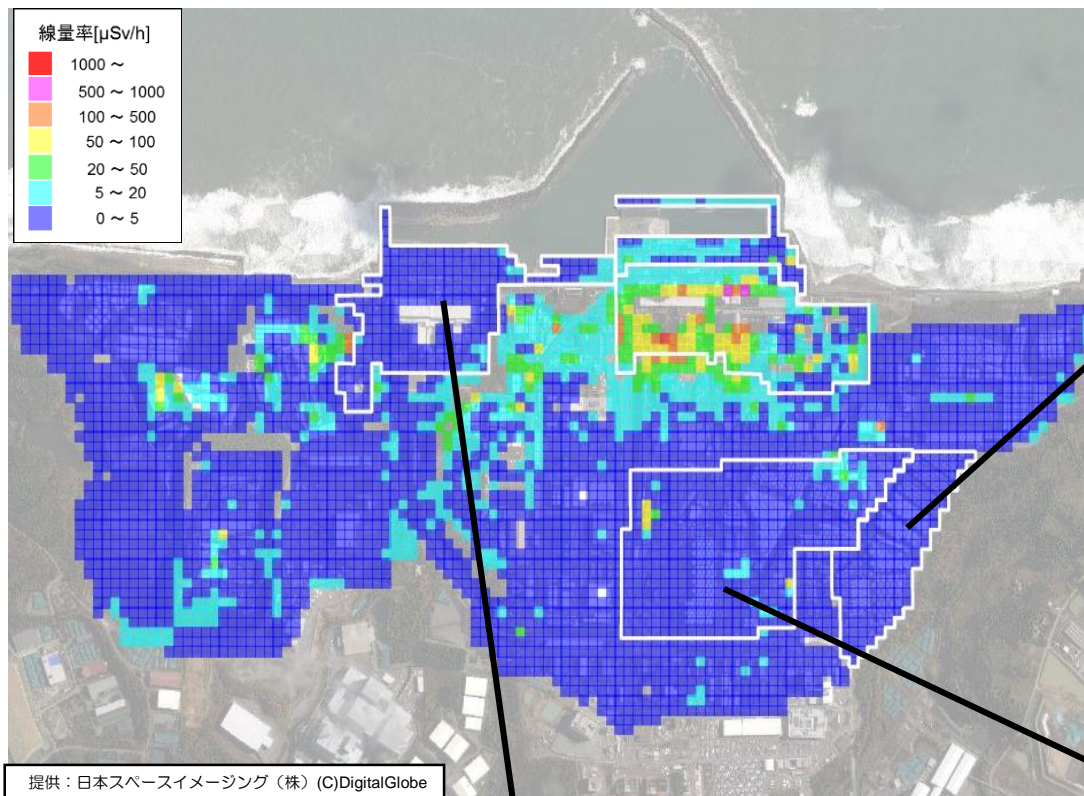
※1 地表面（リメ-ト）：プラントからの散乱線等の影響がある場所について、線量低減効果を確認するため、地表面（地表面から1cm程度）をリメ-トして測定。

なお、図中の点線で囲った箇所は、工事による立ち入り規制で測定点にアクセス出来なかったため、前回以前の測定値を表示。

# 1. エリアの線量率測定

－ 1～4号機周辺以外（測定エリア②、③及び④）の線量率－

<線量分布（30mメッシュ：胸元高さ）>



測定エリア③：Jタンクエリア  
・ 地表面からの高さ1 mの平均線量率：  
**0.8μSv/h (2024.1)**  
[前回：0.7μSv/h (2018.6) ]  
・ 昨年度と概ね変わらず。

測定エリア：④Hタンクエリア  
・ 地表面からの高さ1 mの平均線量率：  
**2.2μSv/h (2024.3)**  
[前回：2.7μSv/h (2020.11) ]  
・ 昨年度から低下した要因として、汚染水貯蔵タンク（Eタンク）の解体による線量率の低下が考えられる。

測定エリア②：5.6号・物揚げ場エリア  
・ 地表面からの高さ1 mの平均線量率：  
**2.0μSv/h (2023.12)**  
[前回：2.9μSv/h (2018.4) ]  
・ 昨年度から低下した要因として、日本海溝津波対策防潮堤設置工事等による周辺線量率の低下が考えられる。

## 2. 構内主要道路の線量率の状況

構内主要道路については、四半期に1度、走行サーベイ※<sup>1</sup>により線量率の状況を確認している。昨年度と比較すると、高温焼却炉建屋西側及び南側（図中黒破線箇所）の道路において線量率の低下を確認した。

<2022年度 第4四半期>  
(2023.2 測定)



<2023度 第4四半期>  
(2024.2 測定)



※ 1  
車両に線量率測定器を搭載し、同時に位置情報を自動的に記録することで走行しながら線量率を確認